

JICF e-RACE 2020 nichinao-Tacx-iRC シリーズ

第2戦 菜の花飯山ヒルクライムラウンド 大会要項

ver.20200616

- 主催 日本学生自転車競技連盟
- 協賛 株式会社日直商会 Tacx ガーミンジャパン株式会社 井上ゴム工業株式会社
株式会社イノアックコーポレーション 株式会社梓
BRIDGESTONE FULLMARKS KODA SOTO 戸狩観光協会
戸狩温泉スキー場株式会社 有限会社神仏の鷲森 TRKWorks (順不同)
- 後援 飯山市 飯山市教育委員会 NPO法人飯山市体育協会
一般社団法人信州いいやま観光局 戸狩観光協会 (予定含む)
- 日時 2020年6月21日 (日)
- 時程 09:00 競技役員集合
10:00 Zoomオープン (体重・設定確認)
10:30 配信開始
10:45 ライダースミーティング
11:00 ヒート1
12:30 ヒート2
14:00 リザルト発表・解散 ***参加人数に応じて、時程を変更することがある。**
- 場所 「おうち参加」 : 自宅・部室等からweb参加 (こちらが基本形)
「仮設キャンプ」 : 株式会社日直商会 草加営業所 (2名程度)
機材を持たない人向け、レンタルトレーナー有り
- コース 長野県飯山市 県道飯山新井線 飯山市中曽根外様~頂上
距離6.18km 標高差479mをシミュレートしたTacxソフト上のe-コース
- 種目 e-ヒルクライム 2ヒート
- 参加資格 1 本年度日本学生自転車競技連盟登録選手。クラス1, 2, 3, 女子。
2 本年度JCFライセンス保有者で本連盟が認めた者のオープン「おうち参加」可。
- 参加条件 「おうち参加」 : 以下のような設備・環境を自分で用意できること
・スマートトレーナー又はパワーメーター、自転車などの機材
・それらがパソコン又はスマートフォンとBluetooth等にて接続出来ること。
・インターネット環境
・体重計 (当日体重を証明)
- 「仮設キャンプ参加」会場 : 株式会社日直商会 草加営業所
(2名程度, 首都圏1都3県からに限る) : 以下を用意・持参のこと
・シマノ11速対応自転車
・仮設キャンプ参加ではZoom接続は必須ではありません。接続を希望する場合はZoom用の端末と回線は自分でご用意ください。(例 : 電話回線sim入スマホで可)
- 「おうち参加」・「仮設キャンプ参加」共通
・Tacxアプリへの登録 9.9€ / 月 (参加料とは別途必要)
(新規登録最初の10日間無料、Tacxスマートトレーナー購入時は1か月無料)
尚、e-RSの残りの3戦に一括エントリーした本連盟登録競技者のうち先着20名には、nichinao Tacx より365日間のTacxアプリ・バウチャーが提供される。
・イベント中、自身の走行映像を後日指定するZOOM会議室で共有すること
(通信環境により困難な場合は免除するが、試験接続時に申し出ること)
・前日迄に必ず接続確認を行うこと。事前の接続確認を行わずにイベント当日に接続できなかった場合、問い合わせ等への対応はできない場合があります。

nichinao

Tacx
A Garmin Company

iRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

Innovation & Action
INDAC



KODA
EAT THE PAIN

SOTO
Sparked by nature

TOGARI
戸狩温泉スキー場



TRK Works

- 参加料 「おうち参加」 エントリー500円(オープン参加は1000円)
3戦一括エントリー1500円
- 「仮設キャンプ参加」 1500円
- 参加申込 グーグル・フォーム <https://forms.gle/BNtzuBPCiwHbq6WC6> にて申込。
「仮設キャンプ参加」希望の場合は使用機材欄に「レンタル希望」と記入すること。
申込期限は、**6月17日(水)12時00分**とする。
レンタル希望者が受け入れ可能人員を超えた場合には抽選とし、翌日結果公表する。
参加の可否を確認後、参加料を銀行振り込みにて送金すること。
参加料納入期限は、6月18日(木)必着とする。
送金人欄にイベントコード0621と、XX大学等、チーム名を記入すること。
振込先：みずほ銀行 渋谷支店 普通預金 8101853 日本学生自転車競技連盟
トレーニングイベントの為、同一チームからの個別・複数の個人申込可能
- 記録認定 本ラウンドの記録は2ヒートの合計タイムによる。1秒未満のタイム差は考慮されない。
2ヒートとも完走していない場合は記録が認定されない。同タイムの場合は同着として扱う。
本ラウンド各クラス上位3名に記録証と記念品を送付する。
本ラウンドは、各クラス優勝者には賞品を送付する。
第4戦までの全戦参加者のうち、オープン参加者を除く学連登記選手最上位者には別途記念品を送付する。
4戦通算成績は、各ラウンドの順位をポイントとし、合計ポイントのより少ない者を優位とする。同ポイントの場合は最終ラウンドの記録の優劣による。
記録はホームページにて発表し、表彰式等を行わない。
今回の結果はクラス昇格・残留、選手権大会参加基準には考慮されない。
体重入力・事前設定等の不正が明らかになった場合は記録は取り消される。
- 賞品 使用コースの地元飯山市の生ハムメーカー株式会社様 (<http://jamonsnow.jp/>) より、各カテゴリ優勝者賞品として「250gの生ハムブロック」が送付されます。
- 接続テスト <http://jicf.info/officials/7310> 左記のページの手順に従い、アカウントを作成し、TAXアプリに登録し、アプリ内で「学生代表委員会 日本学生自転車競技連盟」をフォローする。認められるとアプリ上GPSコースにある本コースに入れる。
登録したメールアドレスに届く、学連からのフォローリクエストを許可すること。
走行(トレーニング) データをフォロワーに公開として設定。
＝フォロワーの記録は、フォローされている方のアプリ上に一覧表示される。
接続テストをイベント前日までにを行い、不明点は下記連絡先へ問い合わせること。
- 競技規則 走行データを基に、順位をつける。不測の事態により、走行データの保存ができなかった場合には審判長の許可を得ることで、走行データのスクリーンショットによってデータを認める。
- 出走時刻 エントリー締めぎり後、スタートリストにより発表する。
(10:00から13:30までの間にスタート予定)
- 体重設定等 公平なeレースには、TAXアプリに体重が正確に入力されていることが必要である。
正しく設定されていることを確認するため、体重計と設定画面の写真またはスクリーンショット等を要求する。Difficultyは変更不能の設定とすること。

「仮設キャンプ」場での注意事項

- ・当日朝に検温、体調不良の場合は欠場のこと(ペナルティは課されない)
- ・密集を避けるため、選手に帯同するスタッフ数をチーム1名まで
- ・計測開始1時間前以降に会場入り(それより早く会場には入らない)
- ・計測終了後速やかに帰宅すること
- ・計測時以外はマスク着用



事務局 日本学生自転車競技連盟 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JSOS-408
本件に関する問い合わせ先： E-mail:jicf.international@gmail.com TEL:090-2207-2369
webサイト URL: <https://jicf.info/>
注意：大会要項は変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。

当日の動画配信予定：6月21日（日）10:30頃から
<https://www.youtube.com/watch?v=GbLSfr6bxXE>

解説：小林輝紀氏

菜の花飯山サイクルレース オルガナイザー
TEAM BRIDGESTONE Cycling MTB監督（兼メカニック）
1968年10月 長野県生まれ、飯山市在住
元実業団TEAM RAVANELLO所属ロード選手
UCI認定MTBコーチ
日本スポーツ協会認定自転車コーチ
JCF日本代表MTB/CX強化スタッフ



ゲストライダー：

沢田時（TEAM BRIDGESTONE Cycling）

TEAM BRIDGESTONE Cycling所属 MTB/CX/ROAD選手
1994年1月 滋賀県生まれ、長野市在住 174cm・64kg
2011年～2015年までMTB全日本選手権を連覇
2016年は6月のMTB世界選手権で重傷を負いながらも復活、
出場全レースを制してMTBナショナルシリーズチャンピオンを獲得
CXでは2016年に初エリート参戦ながら全日本選手権優勝
関西生まれの夫婦ながら、日本一になるためだけに
長野に引っ越してきたベテランエリート



竹内遼（FUKAYA RACING）

FUKAYA RACING所属 MTB/CX選手
1997年11月 長野県生まれ、木島平村在住
168cm・59kg
2015年MTBアジア選手権ジュニア優勝
2019年CJ熊本開幕戦でエリート初優勝
なぜか「飯山市は地元」だと言い張る
パワーウェイトレシオが高い期待の若手選手
CXでも抜群の強さを誇り、
日ごろは飯山全域を使ってトレーニングしている



nichiniao



Tacx
A Garmin Company



IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

SOTO
Sparked by nature

Innovation & Action
INDAC

TOGARI
尾花 戸野 運 康 スポーツ



TRK Works

JICF e-RACE 2020 nichinao-Tacx-iRC シリーズ

日本学生自転車競技連盟

Rev.2020/6/12

背景

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、延期や中止となる大会が相次いでいます。地域・学校により自宅外での練習が禁止、あるいは自粛しなければならない状況があり、今後暫く続くと思われまます。この状況下で出来るものの一つとして、自宅等の室内で可能なインターネットを利用したe-レースがあります。e-レースそのものが一定のトレーニングとなるのはもちろんですが、他選手との現状比較が出来るため**トレーニングの指標設定やモチベーションの維持向上**に効果的でもあります。

機材としてインターネット接続機器に加えて少なくともパワーメーター・理想的にはスマートトレーナーが必要なため、選手によっては新規に道具を揃える費用が発生するという面もあります。しかし企業や学校がこのウイルス拡大を機にwebでの会議や講義を進めており、感染拡大後も将来的にweb利用が続くと予想され、自転車競技でも一般的で有力なトレーニング手段としてe-レースが続くことが予想されます。そのため、**今後に向けてこの機会を積極的に捉えてe-レースの実践をしていくこと**といたします。

自転車のe-レースソフトウェアとしては現在Zwiftが普及しており、その中の”Meetup”を活用した練習レースは検討・実施途上ですが、Zwiftではオリジナルコースを設定することができません。本連盟が予定した大会のコースを取り入れたe-レースを実行可能な選択肢として、Tacxのトレーニングアプリがあります。こちらはトレーニングアプリ故、他の走者と一緒に走るようなシミュレーション(ゲーム)機能はありませんが、コースを自由に設定できる特徴があります。

今回はTacxアプリを利用したe-レース・シリーズを計画しました。

このシリーズは将来へむけた試行的**トレーニング・イベント**という性格であり、**結果はランキングや大会参加資格には反映されません。**

推移

第1戦は例年6月に日本学生自転車競技連盟主催により利根川上流域仮設コースで行っている個人ロードタイムトライアルコースをシミュレーションするeレースを大会予定期日であった6月7日に開催しました。機材を所持しない選手の参加機会を確保するため、株式会社日直商会様からデモンストレーション機材を借用し、仮設キャンプを用意して8名の参加機会を確保し合計23名の選手が出走しました。

リザルト

<https://jicf.info/13993/>

BiCYCLE CLUB

<https://funq.jp/bicycle-club/article/596083/>

CycleSports

<https://www.cyclesports.jp/news/race/24799/>

シクロワイアード

<https://www.cyclowired.jp/news/node/325021>

シクリズムジャパン 浅田 顕さんYoutube

<https://www.youtube.com/watch?v=-GqC-tukLjM>



nichinao



Tacx
A Garmin Company



iRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

KODA
EAT THE PAIN

SOTO
Sparked by nature

Innovation & Action
INDAC

TOGARI
尾崎 戸野 運 具 株式会社

WASHIMORI

James Sato
ハモンスノー

TRK Works

JICF e-RACE 2020 nichinao-Tacx-iRC シリーズ

スケジュール

第1戦 利根川個人タイムトライアル・ラウンド

2020年6月7日(日)

毎年行われているロードタイムトライアルとしては日本国内最長の30km越えコース設定。日本学生自転車競技連盟出身の全日本選手権ロードタイムトライアルの覇者(西園良太・東京大学、中村龍太郎・信州大学など)を育ててきたコース。

第2戦 菜の花飯山ヒルクライムラウンド

2020年6月21日(日)

例年、シーズン始めの大会として定着している長野県飯山市のクリテリウム+ヒルクライム・ラウンドからヒルクライムをピックアップ。(写真は2011年、雪渓を進むヒルクライムの様子)



第3戦 霊峰木曽おんたけタイムトライアル・ヒルクライム ラウンド

2020年7月5日(日)

今シーズンからの新規開催予定大会。リアルレースの前に平坦タイムトライアルとヒルクライムの体験を。(コース設計中)

第4戦 木祖村タイムトライアル ラウンド

2020年7月19日(日)

全日本学生選手権ロードレースの開催地として長年親しまれてきた長野県木曽郡木祖村・奥木曽湖周回コース。周回部分にフィニッシュ直前の激坂を加えたタイムトライアルを。

(写真は2012周回部分/2014フィニッシュ地点)



nichinao

Tacx
A Garmin Company

iRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

Innovation & Action
INDAC

Japan Stock
ハモンスノー

BRIDGESTONE

FULLMARKS

KODA
EAT THE PAIN

SOTO
Sparked by nature

TOGARI
戸狩温泉 スポーツ

WASHIMORI

TRK Works